

エコアクション21 2023年度環境活動レポート

期間：2023年4月1日～2024年3月31日



エコアクション21
認証番号0011952

中川建設株式会社

発行日：2024年6月1日

目 次

1 環境経営基本方針	2
2 事業活動の概要	3
3 環境経営組織図及び役割、責任及び権限表	5
4 環境経営目標とその実績	6
5 環境経営計画	7
6 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	8
7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	9
9 代表者による全体の評価と見直し・指示	9
10 活動状況	10

1. 環境経営方針

環 境 經 営 方 針

《環境経営理念》

私たちが、事業活動を行うことにより、環境への影響を与えていることを自覚し、環境負荷の低減を図るために、環境方針の理解と意識の向上を図り、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組める会社づくりを目指します。

《環境保全への行動指針》

環境への取組を進めるため、以下の事項について取組んで行きます。

1. 当社が守らなければならない環境関連法規や条例等を明らかにし、これを遵守します。
2. 環境改善のために環境目標を定め、定期的に見直し、継続的な環境負荷の低減を目指します。
3. 事業活動に伴う環境影響を低減するため、以下の活動を実施します。
 - 1) 事業活動全般において、地球温暖化防止のため、エネルギーの使用を低減し、二酸化炭素の削減に取り組めます。
 - 2) 循環型社会に向けて、水や資材等の使用を節約すると共に、廃棄物の発生を減らし、発生した廃棄物の再生及びリサイクルに取り組めます。
 - 3) 現場での環境配慮に応じた工法、作業の取組を行います。
 - 4) 地域社会の環境保全活動に参加します。
 - 5) 化学物質を使用する場合は、適切な取扱い及び処理を行います。
4. 全従業員にこの環境方針を周知させます。



制定日：2016年10月1日

改定日：2020年4月1日

中川建設株式会社

代表取締役

中川 誠裕

2 事業活動の概要

事業者名及び代表者名

中川建設株式会社

代表取締役 中川 誠裕

所在地

本 社 〒521-0218 滋賀県米原市志賀谷895-1

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

環境管理責任者 中川 誠裕（兼任）

連絡先： 0749-55-2719

連絡担当者 中川 祐美子（取締役）

Tel：0749-55-2719

Fax： 0749-55-2900

E-mail： pbf-nakagawa2002@zb.ztv.ne.jp

事業活動（認証・登録範囲）

土木・とび・石・鋼構造物・舗装・しゅんせつ・塗装・水道施設・建築
・管の工事業

許認可

特定建設業

滋賀県知事 許可（特 一24）第60342号

（土木・とび・石・鋼構造物・舗装・しゅんせつ・塗装・
造園・水道施設）

一般建設業

滋賀県知事 許可（般一24）第60342号

（管工事業）

事業の規模

資本金

4,000万円

売上高

303,766 千円／2023年度

生産量や工事件数

91 件／2023年度

全従業員

6 名（2023年4月1日現在）

* 当社の事業年度は、毎年4月1日から翌年年3月31日迄です。

事業組織

面積：㎡	本社
事務所床面積	97
駐車場面積	174.47
資材倉庫床面積	125
本社敷地面積	735
従業員 名	6

過去3年間の環境負荷の実績

	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO ₂	18,888	24,732	11,923
二酸化炭素排出量原単位	Kg-CO ₂ /百万円	96.0	81.6	39.4
産業廃棄物の排出量	t	566	1182	269
水の使用量、排水量	㎡	地下水利用（水量計測なし）		

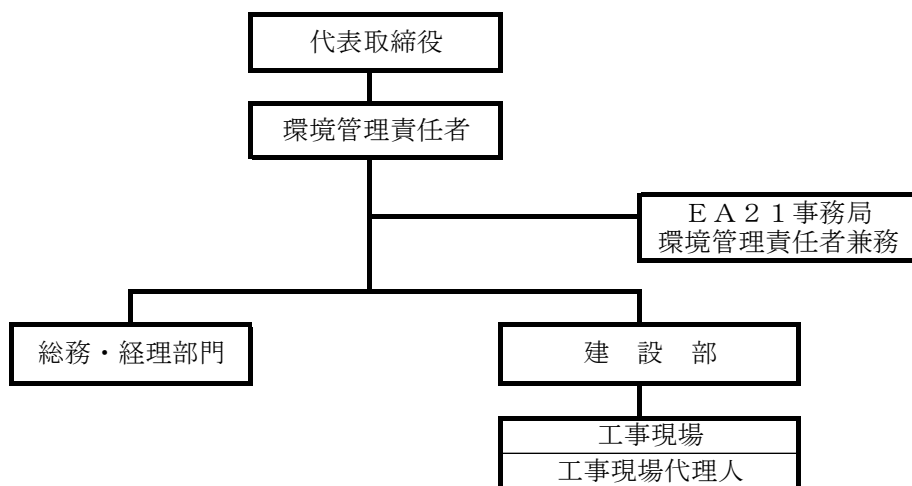
*購入電力の排出係数は、関西電力2018年の調整後排出係数0.418kg-CO₂/kwhを2018年から2020年の3ヶ年間固定とする。

*化学物質の使用量は極微量の為、目標に掲げず、適正に管理します。

保有建設機械等の種類 2023年4月現在

機器名称	2023年度	
	保有台数	能力
油圧シャベル(308BSR)(SK50UR)	2台	0.25m3
油圧シャベル(PC120-6EO)	1台	0.5m3
2tダンプ(U-WGLAD)	1台	2t
4tダンプ(U-FC3WCAD)	1台	4t
乗用車	1台	

3 環境経営組織図及び役割、責任及び権限表



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。) ③環境管理責任者を任命する。 ④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。 ⑤代表者による全体の評価と見直しを実施する。 ⑥環境経営レポートを承認、発行する
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。 ②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。 ③法規制等の遵守状況をチェックする。 ④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。 ⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。 ⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。 ⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。 ⑧E A 2 1 に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とE A 2 1 事務局への達成状況の報告。 ②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
E A 2 1 事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。 ②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。 ③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。 ④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。 ⑤文書及び記録の管理保管。 ⑥外部コミュニケーションの窓口。 ⑦内部コミュニケーションの運営管理。 ⑧従業員に対する教育訓練の実施。 ⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。 ⑩環境経営レポートを作成する
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4 環境経営目標とその実績

わが社は2016年4月より環境活動に取り組んでいます。尚、この環境経営レポートでは、2021年度を基準年として2023年から3年間の中長期環境経営目標を設定し、2023年4月1日から2024年3月31日までの運用実績について取りまとめました。

評価：○達成 △まあまあ達成(継続すると問題) ×未達成

次年度 中長期

方針	取組項目	年度 単位	2021年	2023年(取組年)			2024年	2025年
			(基準年)	(目標)	(実績) (削減率は対基準年比)	評価	(実績)	(実績)
二酸化炭素削減	電力消費量の削減 (kWh)	目標%	100%	98%	97%		97%	96%
		消費量	4,475	4,386	4,354	×	4,341	4,167
		(kg-CO ₂)	1,423	1395	1385		1,380	1,366
	売上高原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	6		5	○		
	自動車燃料(ガソリン)の削減 (単位:L)	削減%	100%	98%	42%		97%	96%
		消費量	3,031	2,970	1,272	×	2,940	2,852
		(kg-CO ₂)	7,032	6891	2,951		6,821	6,751
	売上高原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	30		10	○		
	建設機械燃料(軽油)使用量の削減 (単位:L)	削減%	100%	98%	73%		97%	96%
		消費量	4,044	3,963	2941	×	3,923	3,882
		(kg-CO ₂)	10,434	10225	7,588		10,121	10,016
	売上高原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	45		25	×		
	二酸化炭素排出量の削減	削減%	100%	98%	63%	×	97%	96%
		(kg-CO ₂)	18,888	18,511	11,923		18,322	18,133
売上高原単位当たりの二酸化炭素排出量		(kg-CO ₂ /百万円)	82		39	△		
売上高		(百万円)	231		303			
産業廃棄物のリサイクル率向上	分別及びリサイクルの推進(建設廃棄物の削減) (単位:%)建設現場	%		80%	125%	○		
		%/年	80%	80%	100%		80%	80%
排水量削減	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	— —	地下水使用で使用量を計測していないため削減目標は設定せず使用量削減に取り組む					
環境に配慮した施工の推進	低燃費、低騒音、低振動の建設機械を使用(単位:%) 建設現場	%				○		
		%/年	全箇所	全箇所	全箇所		全箇所	全箇所
地域環境保全活動の推進	地域の美化活動に参加する。(単位:回)				100%	○		
		回数/年	12	12	12		12	12

目標の説明や補足事項などを記載

- 上表での購入電力の排出係数は、関西電力2019年の調整後排出係数0.318kg-CO₂/kWhを使用している。
- 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対して建設リサイクル80%以上に取組する。
- 水使用量については、地下水使用で使用量を計測していないため削減目標は設定せず使用量削減に取り組む。
- 施工現場で使用する化学物質の使用量を把握するとともに、極微量のため環境目標に掲げず、適正に管理する。
- 環境配慮施工は低燃費、低騒音・低振動型の建設機械を100%使用に取組する。また、建設現場で濁水防止監視を100%に取組む。
- 社会貢献活動は地域の美化活動等に参加し、環境保全を推進する。
- 上記の目標のほか、建設現場の環境及び品質安全向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組む。

5 環境経営計画

方針	取組項目	活動計画の内容	責任部門・担当者
二酸化炭素削減	電力消費量の削減 (kWh)	① 不用時の消灯 ② 帰社時に機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃)	総務・経理 中川祐美子
	自動車燃料(ガソリン)の削減 (単位:L)	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖機運転・アイドリングストップ ③ 環境に配慮した稼働 ④ 環境適合建設機械の使用	工事中 川 誠 裕
	建設機械燃料(ガソリン・軽油)使用量の削減 (単位:L)		
産業廃棄物のリサイクル率向上	分別及びリサイクルの推進(建設廃棄物の削減) (単位:%)建設現場	① 建設混合廃棄物を分別し、リサイクルを徹底する。 ② 無駄な資機材を購入しない。	工事中 川 誠 裕
排水量削減	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	① 水洗トイレの水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない	総務・経理 中川祐美子
環境に配慮した施工を推進します。	低燃費、低騒音、低振動の建設機械を使用(単位:%) 建設現場	① 低燃費、低騒音・低振動型の建設機械を100%使用	工事中 川 誠 裕
地域環境保全活動の推進	地域の美化活動に参加する。(単位:回)	① 地域の美化活動等に参加し、環境保全を推進する。	工事中 川 誠 裕

取組みの紹介

- 1 節電・アイドリングストップの啓発と励行
- 2 建設廃棄物の分別徹底で、リサイクルの推進
- 3 水使用量の削減及び建設現場からの濁水監視の励行
- 4 施工現場で使用する化学物質の使用量を把握し、適正に管理
- 5 建設現場では環境に配慮した施工の推進
- 6 地域の美化活動等に参加

6 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

方針	取組項目	単位	2023年(取組年)		取組みの評価
			(目標)	(実績)	
二酸化炭素削減	電力消費量の削減 (kWh)	目標%	98%	97%	今年度は売上は増加したが、工事車両は工事現場も近く早期完了や必要最小限での使用に努め大幅な削減となった。今後も相乗りやエコドライブを行う。
		消費量	4,386	4,354	
		(kg-CO ₂)	1,395	1,385	
	自動車燃料(ガソリン)の削減 (単位:L)	目標%	98%	42%	今年度は売上は増加したが、工事車両は工事現場も近く早期完了や必要最小限での使用に努め大幅な削減となった。今後も相乗りやエコドライブを行う。
		消費量	2,970	1,272	
		(kg-CO ₂)	6,891	2,951	
	建設機械燃料(軽油)使用量の削減 (単位:L)	目標%	98%	73%	今年度は基準年に比べ舗装工事が少なくCo塊、AsCo塊等の産業廃棄物げ減少した。発生量は工事種類により増減するので、発生量はすべて再資源化されており問題はない。今後も各現場において着手前十分な計画を立て3Rを実施する事。
		消費量	3,963	2,941	
		(kg-CO ₂)	10,225	7,588	
	二酸化炭素排出量の削減	削減%	98%	63%	
		(kg-CO ₂)	18,511	11,923	
産業廃棄物のリサイクル率向上	分別及びリサイクルの推進(建設廃棄物の削減) (単位:%)建設現場	%	80%	125%	事務所廃棄物の3Sを徹底し削減できた。今後も継続する。
		%/年	80%	100%	
排水量削減	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	地下水使用で使用量を計測していないため削減目標は設定せず使用量削減に取り組む			
環境に配慮した施工の推進	低燃費、低騒音、低振動の建設機械を使用(単位:%) 建設現場	%			今後も各現場において着手前十分な機械選定計画を立て実施する事。
		%/年	全箇所	全箇所	
地域環境保全活動の推進	地域の美化活動に参加する。(単位:回)			100%	今後も率先して取組む事。
		回数/年	12	12	

次年度の主な取組内容

- 1 二酸化炭素削減では、節電・アイドリングストップの啓発と励行に努める。
- 2 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対して建設リサイクル80%に取り組む。
- 3 水使用量については、事務所、作業所、建設現場における水使用量の削減に取り組むと共に、建設現場で濁水防止監視100%に取り組む
- 4 施工現場で使用する化学物質の使用量を把握するとともに、微量にため環境目標に掲げず、適正管理する。
- 5 環境配慮施工では建設現場で濁水防止の監視に取り組むとともに、低燃費、低騒音・低振動型の建設機械の100%使用に取り組む。
- 6 社会貢献活動は地域の美化活動等に参加し、環境保全を推進する。
- 7 上記の目標のほか、建設現場の環境及び品質安全向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組む。

7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管基準、委託契約、マニフェスト(発行、保管、発行状況届出)	適正処理
浄化槽法	浄化槽の定期保守点検、検査	遵守
資源有効利用促進法	パソコンリサイクル費用の支払い写し	遵守
建設リサイクル法	建設工事の事前届出、建設副産物の管理、排出	遵守
安全衛生法 (石綿障害予防規則)	石綿等使用の事前調査、作業計画、作業の届出	遵守
大気汚染防止法	特定粉じんなど事前調査、作業計画届出、掲示	遵守
家電リサイクル法	家電販売店に委託	遵守
自動車リサイクル法	新車登録又は廃車時の管理(専業業者に委託)	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検の実施と引渡し解体時の業務用エアコン、冷蔵冷凍庫の確認	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
排ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程	対策型ステッカー貼付けの建設機械の使用	遵守
低騒音型・振動型建設機械の指定に関する規程	ステッカー貼付けの建設機械の使用	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	適正処理
注:適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

8 代表者による全体の評価と見直し・指示

2023年度は、基準年度(2021年度)比、約31%売上増加となったが従業員全員の協力で二酸化炭素排出量は37%の削減となった。原因は、工事受注詳細で重機作業が大きく減った事や車両、重機は最新型を増車した事が要因で削減となっていると思われる。各工事施工では二酸化炭素排出抑制の意識は高く省エネへの取り組みは継続している。今後も使用機械選定を重視して省エネ運転やダブル使用車でエコドライブに取り組んでいくこと。全体として取組には問題はなく、環境経営方針、環境経営目標・計画及び取組体制の変更は必要としない。

9. 環境活動状況

1. 社内の環境活動

1. 社内の環境保全活動

①節電活動(照明のLED化)



③コピー用紙の削減活動



⑤グリーン購入活動



⑥自動車燃料削減(エコカー)



④節水活動



⑦一般廃棄物分別



2. 地域環境保全活動への参加

(1) 淡海エコフオスター

淡海エコフオスター制度は、エコ(環境)とフオスター(育成する)を結びつけ、環境 こだわり県滋賀を表す「淡海」を冠したもので、各種団体や企業が継続的なボランティア 活動により、湖岸、道路などの公共スペースの一定の区画を、愛情と責任をもって美化 を推進する。



(2) 地域貢献活動

びわこ一斉清掃運動に参加し湖岸道路の
清掃作業を実施 7月1日



(3) 地域貢献活動

受注物件の現地工事現場の堤防集落道路の除草・塵芥収集作業を実施 9/21

